平成29年度入学生 キャリア教育全体計画

1目 標

学校番号 14 学校名(課程) 長野高等学校(全日制)

様々な社会現象や地域活動をグローバルな視点から正確に理解・分析する力や、積極的に改善しようとする力を養う。更に、様々な人たちと良好なコミュニケーションを図り、世界を視野に入れて活躍できるグローバル・リーダーとしての総合力を育成する。

2 つけたい力

- a 有意義な高校生活を送るための基本的生活習慣と確かな学力。
- b 社会的自立に向けて自己の向上を図るとともに、円滑な人間関係を主体的に構築することのできる力。
- c 自己理解を深めるとともに、様々な職業について広く研究し社会と自分との関わりについて考える力。
- d 希望する進路の実現に向け、自らの課題を発見し、解決する力。
- e グローバル・リーダーに求められる論理的思考力や発信力、コミュニケーション能力。

3 内容

指導項目	指導方針 〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計	ア 学校の教育活動全体をキャリア教育との関連の中で位置づけ、その自覚のもとに指導を行う。
と社会参画の意識を醸成する。	< ①~ ④⟩
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎	イ 3年間の見通しのもとに教育活動全体を計画し、相互に連関を持つよう研究する。〈①~④〉
用的能力)を育む。	ウ 総合学習、講演会は、レポート提出によって、身についた力の確認を行い、以後の取り組み
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業	や指導に生かす。《①~④》
観の形成を促し、将来の職業を考える。	エ 幅広い視野を養い、社会の中の自己について考える。〈②~④〉
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす。	オ 将来、社会の中でどのように自己実現と社会貢献を実現するかを考え、その上で、いま「学ぶ」
	ことの意義を考える。《①~④》

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等 〈実施学年〉			
教科の授業	・社会の事象や問題を様々な教科の視点から捉え、自分の問題として考えられるようにする。			
	・話し合いやグループ発表など、他者の意見を理解し、共有する授業形態を導入する。			
	・「長野のグローバル戦略を探る」において、課題研究に必要なスキルを学び、フィールドワークを通してテ			
	ーマを設定し、探究を進める。 〈1年〉			
	・「世界から見た長野のグローバル戦略」において、1年次からの研究を継続し、フィールドワークを重ねて			
総合的な学習の時間	探究を深める。〈2年〉			
心のロロンな子目へいがし	・「今後の長野のグローバル戦略」において、これまでの課題研究の成果を政策提言にまとめ、善光寺グロー			
	バルサミットを企画して国内外の青年と討論する。 (3年選択者)			
	・自身の進路研究分野の課題図書を選び、レポートにまとめ提出する。〈3年〉			
	・職業研究、学部学科研究、文理選択研究、大学研究などを行い、レポートにまとめ提出する。			
特別活動	・駅伝大会、音楽会、クラスマッチなどの学校行事を通して主体的に人間関係を構築し、自己の育成をはかる。			
「行いに自動」	・研修旅行やその事前学習を通して、文化や歴史、人間についての知見を広める。			
校外の体験活動	・SGH フィールドワーク〈1 年、2 年〉			
(就業体験活動等)	・就業体験やオープンキャンパスへの参加			
	・SGHフィールドワーク〈1年、2年〉 、就業体験(医療系など)			
地域や産業界等との連携	・進路講演会 (OB 招聘、分科会形式) 〈1 年〉			
	・善光寺グローバルサミット〈3年〉			
評価	・レポート提出や面談を通じて、生徒の取り組みや諸活動の意義を評価し、次年度の改善に活かす。			
	・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用。			
中学校との連携	・公開授業や学校説明会において学校の取り組みを発信する。			
(指導の継続性)	・中高教頭会、中学校との連絡会で情報交換を行う。			
	・キャリア教育係(主任、各学年担当)を中心に全職員が協力して行う。			
 校内の推進体制	・イヤック教育所(主圧、谷子中担当)を中心に主職員が協力して行う。 ・学年と進路係が連携して進める。			
「以下」「シブ氏」生(半市)	・子牛と連路深が連携して進める。 ・SGH事業推進係を中心にSGH関連科目の企画、立案を行う。			
1	- 3011 学来1世座所で 〒山下 3011 関連性目 V J 上側、 立来で11 7。			

4 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年	
目標	○SGH の探究活動を通して、グローバルな視点から様々な社会現象や地域活動を正確に理解・分析する力や、積極的に改善をおし進める力を涵養する。 ○将来の自分の人生のあり方や、働くことの意味について考える。 ○自分の希望や適性を考え自己理解を深め、職業について研究し、職業観を育てる。	○SGH の研究テーマについて継続して探究を進め、具体的な企画・提案を行うことをめざす。 ○円滑な人間関係構築と切磋琢磨する集団の一員となる自分作りに努める。 ○自己実現のための情報収集を通し、ライフプラン作成を深める。 ○学部学科の研究を通して現状の課題等を認識し、一層の自己理解を図る。	 ○SGHで地域に対する政策提案をまとめることを通して個人と社会のあり方を考える。 ○自らの進路と社会との接続について理解し、キャリアを通じた自己実現と社会貢献について考える。 ○1,2学年時のキャリア教育を元に、志望校を研究し、進路実現を図る。 ○自身の進路研究分野の図書を読みレポートにまとめることを通して、進路意識を高め、進路実現の方策を探る。 	
主	○SGH フィールドワーク	○SGH フィールドワーク・台湾研修	○就業体験 (医療系など)	
な	○進路講演会 (OB 招聘、分科会)	○就業体験 (医療系など)	○オープンキャンパス参加	
取	○米国リーダー研修 ○就業体験(医療系など)	○オープンキャンパス参加 ○学部学科研究	○進路講演会	
組			○SGH 善光寺グローバルサミット	
評	・生徒意識調査	・生徒意識調査	・生徒意識調査	
価	・面接、レポート	・面接、レポート	・面接、レポート	

*□の囲みは、就業体験活動、校外活動

*	*□の囲みは、就業体験活動、校外活動							
	教 科	総合的な学習の時間	特別活動	その他(面接・評価等)				
	4	・SGHフィールドワーク基礎	・駅伝大会	• 生活指導講話				
		・SGH フィールドワーク I	・クラスマッチ	・個人面談				
	7	・SGHフィールドワークIのまとめ	・文化祭準備	・教育実習生との懇談会				
	夏 国語:評論を通して「自分」とは							
	何かを考える		・ボランティア活動、医療体験(希望者)	・三者面談				
1	休							
1	9 家庭:「親子をめぐる社会環境」「社	・SGH フィールドワークⅡ とまとめ	・クラスマッチ					
年	会的支援」		• 生活実態調査	・個人面談				
'	12		・音楽会 ・進路調査					
	1 現代社会:日本がどのように豊か	・SGH 中間発表会の準備、発表会	• 進路講演会	• 生徒意識調査				
	になってきたか、その問題点が		• 進路研究					
	3 何で あるかを考える		・米国リーダー研修					
	春		・ボランティア活動、医療体験(希望者)					
	休		・学習合宿					
	4	• 課題研究計画	· 駅伝大会	m i z š v				
	国語:評論を通して、社会につい て自分の考えを発展させる	研修旅行事前学習SGH フィールドワーク I	・松代研修事前学習 ・クラスマッチ	• 個人面談				
	1 7 (日分の考えを発展させる)	• SGH フィールドワーク II	・クノヘマッケ・文化祭準備					
	夏 英語:副読本でグローバリズム	・大学学部学科研究	・オープンキャンパス参加					
2	休 ついての考えを発展させる		・ボランティア活動、医療体験(希望者)	• 三者面談				
_	9	・研修旅行講演会	・クラスマッチ					
年	英語プロジェクトⅡ:情報化社会	・台湾の高校生とのプレゼン交流	• 生活実態調査	・個人面談				
	の進展と社会への影響を考える	・課題研究発表会	音楽会					
	12	・科目選択研究・小論文講演会	• 台湾研修旅行					
	1 保健:社会生活と健康について考察	・課題研究の論文作成	・進路講演会	・生徒意識調査				
	し、ライフスタイルを考える	・大学入試研究	・進路研究					
	3	・1年の振り返り・3年次の課題設定	<u> </u>					
	春休		・学習合宿					
	4	・善光寺グローバルサミットの企画立案	・駅伝大会					
		・進路研究課題図書レポート	・クラスマッチ	・個人面談				
		・校内ビデオコンクール作品制作	• 文化祭準備					
		・善光寺グローバルサミット	• 進路研究					
3	7 音	・サミットの英文報告書作成	<u> </u>					
	夏		・学習合宿 - プンキ・ハンパス会社	— =_k				
年	休	・大学研究室訪問	オープンキャンパス参加ボランティア活動、医療体験(希望者)	・三者面談				
'	9	- 小論文研究	・センター試験科目について	・個人面談				
	12	大学研究	・クラスマッチ	• 生徒意識調査				
	1 2	・進路決定振り返り						
	3							